



## 「ふれあいの夕べ」に子どもたちもコーナーを

龍野地区には、夏の風物詩となる二つの祭りがあります。一つは 20 年以上続く「龍野ふるさとふれあいの夕べ」、もう一つは 40 年以上続く「龍野城下町ふる里祭り」です。8 月 19 日(土)、令和の新たなカタチとして、この二つの祭りが合同開催されました。

そこで、今までは、お客さんとしてのみ参加していた子どもたちですが、初めて子どもたちもコーナーを担当し、龍野のまちに「ふれあい・むすびあいの輪」をつくる一役を担うことになりました。子ども企画の中心は 6 年生です。7 月の龍野学で話し合っただけで決めたことは、「うちのプレゼント」と「連だこに思いをのせて」でした。

ちなみにプレゼントするうちの表面は、まちの方それぞれが文字を書いたり絵を描いたりしていただくのですが、裏面には、1 学期学習した龍野学の学びシート(3 年生から 6 年生のみんなが作成したもの)を貼っていました。これは「話す活動」として、全員がその場に来て学んだことを伝えるかわりに書き言葉で伝えることを目的としています。(うちの現物は学校に展示予定です。2 学期のオープンスクールにお越しいただいた際、子どもたち一人一人のコメントもお楽しみください。)

また、「連だこに思いをのせて」は、来年度が龍野小学校創立 150 年目にあたることから、学校へのメッセージを書いていただき、新春(2024 年 1 月)の市の凧あげ大会で大空に舞い上がる様子を子どもたちや地域のみなさんと喜びたいといった地域みんなが開校 150 年を祝う企画です。



## 実行委員会の皆様のおかげで

この「合同開催 龍野ふるさとふれあいの夕べ・龍野城下町ふる里祭り」の成功は、企画・運営をしてくださった実行委員会の皆様のお力があってこそです。7 月 27 日(木)、クラブハウスでは夏祭りに向けた最終の打ち合わせ会が行われました。その様子を少し紹介します。全体での確認事項を協議した後、写真にもあるように、

会場係、運営係など、それぞれの担当に分かれて、当日はどのように担当業務を運営するか、その際課題となることは何かなど、係ごとに話し合い、そこで出た意見を再度全体で確認する展開は、主体的な話し合う場となりました。



これまでなら、事務局が作成した提案を確認・協議する場になっていましたが、今回のような展開だと「みんなで創り上げる」という意識がよく伝わりました。本市の民推協が掲げる「ふれあい・おすびあいの輪」を広げるには、さまざま世代が意見を交わす場が必要です。今後も進め方を工夫したいと思います。

## 当日の様子を紹介します



まず、切り抜き文字で作成したポスターに 6 年生の子どもたちの思いがあふれる子ども企画の様子を紹介します。

祭りが 16 時に開会するとすぐ、子ども企画ブースには、お客さんが訪れました。まず、うちわ企画のうちわづくりの様子について紹介します。このうちわの裏面には、下に示した作品（4 年生）のように、龍野学で学んだこと

が記されています。

コーナーでは、配られたうちわの表面をつくることになります。小さな子どもたちは、絵を描くのが好きで、どの子どもとも素敵な絵に仕上げているように思います。

6 年生の受付をしている子どもたちは、仕上げたうちわとともに家族写真を撮る担当も担いました。カメラに写るみんなの笑顔が印象的でした。



輪違い紋のかわらのある龍野神社に置いてあった沖縄県にあるシーサーのような置物がありました。「なんだろう、どこかで見たことがあるような・・・」と考えてみました。するとしりょう館にあった脇坂のお殿様の着ていたよろいにえがいてあった、「からじし」を思い出しました。そしてこれは「**からじし**」だと分かりました。  
4 年ゆい



実はこのうちわ企画、キャリア教育の考え方も取り入れていました。接客をした人数をクリアすると、出店で使えるゲームチケットがプレゼントされるのです。この日は暑く、うちわを必要とした方も多かったため、受付だけでなく、配ることをがんばり、チケットを得る子たちもいました。6年生の様子を見て、下級生にも配りたい子が出てきたのは、効果的な活動の証かもしれません。

働くことで得られる対価もあり、約400枚のうちわが地域の方に配布できました。このうちわを通じたコミュニケーションでは、「なかなか話せないから配れない」と言っていた子が、「配ることに慣れた。会話や龍野学の説明もできた。」と話せるようになったことから、自己肯定感の高まりも感じました。

一方、もうひとつの連凧企画も順調でした。「来年は龍野小学校開校150年です。メッセージをお願いします。」の子どもたちの声に、祭りに参加する地域の方は、「龍野小の卒業生です。」と快くメッセージを書いてくださいました。こちらの企画は45分ほどで連凧がなくなる盛況ぶりでした。2学期に地域の凧づくり名人のご指導のもと、連凧にし、新春(令和6年)のたつの市凧あげ大会で大空に舞う予定です。

ステージ発表に目を向けると、これまでこども園、小学校ブラスバンド部、中学校吹奏楽部の演奏の他、地域の方の演奏などもあり大変盛り上がりしました。今回初めての試みだった「たつのっ子



応援ステージ」にも四つの団体(サッカー、剣道、ブラスバンド、野球)が登場し、日頃がんばっていることを紹介することができました。温かいまなざしで見守ってくださる地域の皆様の様子が印象的でした。

久々に開催した祭りは盛況でした。参加者全員で踊る伝統の「龍野小唄」やビンゴ大会も盛り上がり、閉会した20時20分まで多くの方の笑顔でいっぱいでした。

